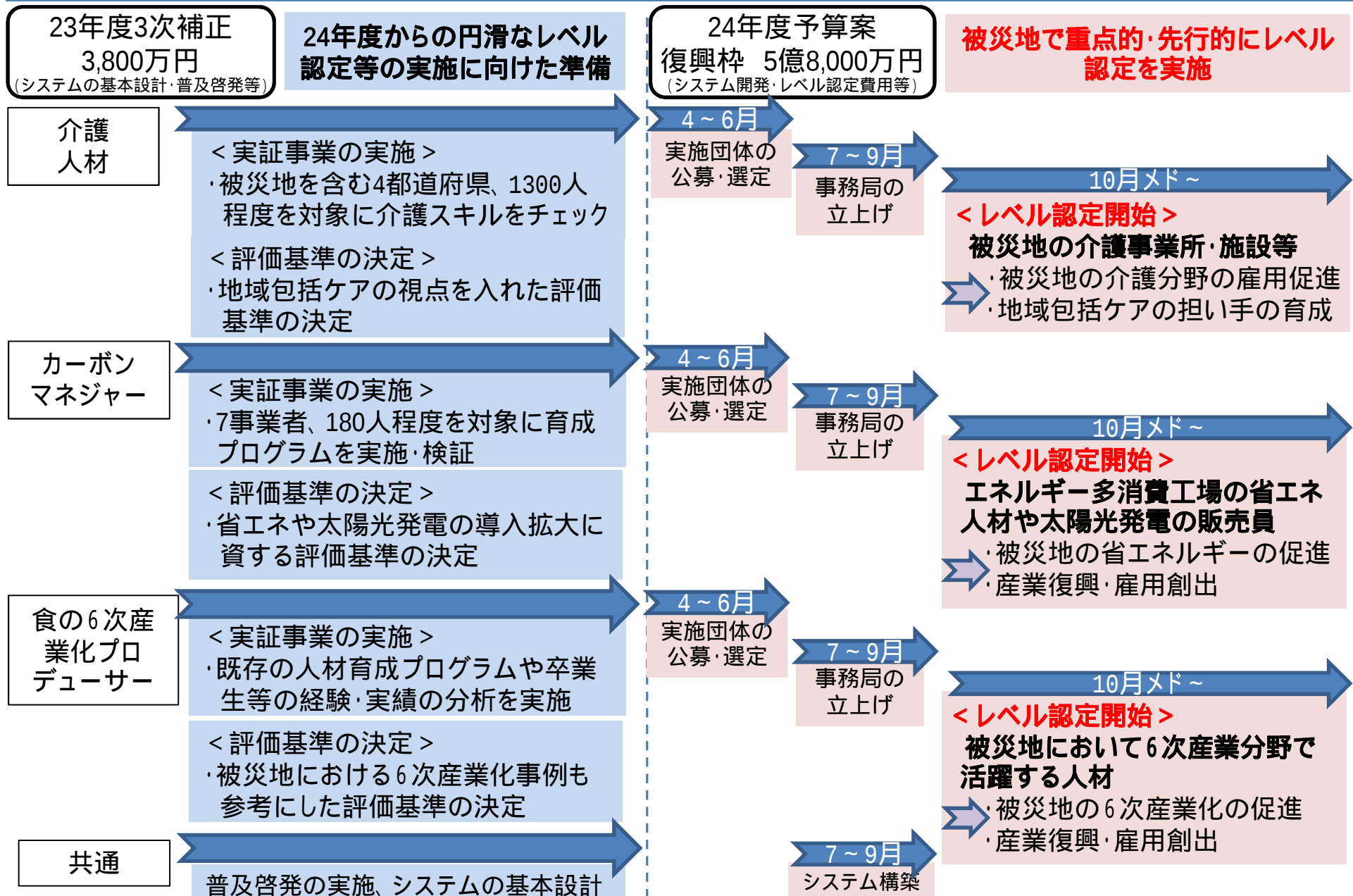


「被災地における地域産業の高度化や新産業分野での専門的人材育成に資する実践的なキャリア・アップの仕組みや育成プログラムの整備等を推進する。」(「東日本大震災からの復興の基本方針」平成23年7月29日決定)



予算補助について

実践キャリア・アップ戦略について、介護人材、カーボンマネジャー、食の 6 次産業化プロデューサーの各レベル認定事業について、復興支援に資するものとなるよう、次のとおり、制度の立ち上げについて予算補助を行う。

- 予算補助の期間は、制度の立ち上げ期間として、当面 3 か年度とする。
- 補助金の額は、総経費の総額からレベル認定手数料・育成プログラムの認証料の額を控除した額とする。（ただし、平成 24 年度予算案の上限額を、介護人材、カーボンマネジャー、食の 6 次産業化プロデューサーで、それぞれ、1 億 9098 万円、1 億 9702 万円、1 億 9202 万円とする。）
- レベル認定手数料については、被災地域等の者とそれ以外の者で徴収する金額を区別することとする。
なお、当面の制度の立ち上げ期間が終了する時点で、改めて金額の設定について検討することとする。

介護人材	3,400 円/ 6,900 円
カーボンマネジャー	8,000 円/19,300 円
食の 6 次産業化プロデューサー	8,000 円/18,300 円

平成 23 年度の実践キャリア・アップ戦略の普及啓発について

ネーミングについて

国が国家戦略の 1 つとして進めている実践キャリア・アップ戦略として、実施するものであり、国がガバナンスが効いた形で職業能力の評価を行うことが明らかになるネーミングを検討。これは、キャリア段位制度の枕詞として使用するもの。例えば以下の案が考えられる。

案の 1：戦略的プロフェッショナル検定

案の 2：国家戦略・プロフェッショナル検定

案の 3：成長分野プロフェッショナル検定

普及啓発の媒体について

- 1．リーフレット（2 ページ）× 1 種類（分野共通）
（部数：1 万部）
＜コンテンツイメージ＞
表面：実践キャリア・アップ戦略の意義、狙い
裏面：3 分野ごとの特徴
- 2．パンフレット（16 ページ）× 3 種類（分野別）
（部数：介護 2 万部、カーボン 1 万部、食の 6 次産業化 1 万部）
＜コンテンツイメージ＞
 - ・実践キャリア・アップ戦略の意義、狙い
 - ・キャリア段位の仕組み
 - ・レベル認定の仕組み
 - ・「わかる」と「できる」の基準
 - ・レベル認定への期待（実証事業の参加者の声などから編集）
- 3．食の 6 次産業化プロデューサーに関する普及・啓発（アンケート）
- 4．説明会の開催
- 5．内閣府 HP に「実践キャリア・アップ戦略」のページを開設
（内閣府トップページ＞審議会・懇談会等＞実践キャリア・アップ戦略）
<http://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html>

内閣府において、上記のような普及啓発を準備しているところ、今後、タスク・フォースのメンバーを含め、関係者の皆様におかれましては、業界紙や雑誌等での紹介、HP のリンク、説明会の開催等、ご協力をお願いいたします。